

福 祉 環 境 委 員 会

令和3年3月5日（金）
10時00分～ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委 員】 柳楽委員長、村武副委員長

沖田委員、小川委員、岡本委員、佐々木委員、田畑委員、澁谷委員

【議 長・委員外議員】

【福祉環境委員会 所管管理職】

砂川副市長

〔健康福祉部〕猪木迫健康福祉部長（健康医療対策課長）、藤井地域福祉課長、
湯浅健康医療対策課副参事、龍河子育て支援課長、
久保新型コロナウイルスワクチン対策室長

〔市民生活部〕斗光市民生活部長、井上保険年金課長、野田環境課長、森脇税務課長、
土谷資産税課長

〔金 城 支 所〕篠原金城支所長、岩崎金城支所市民福祉課長

〔上下水道部〕宇津上下水道部長、谷口工務課長、大上下水道課長

【事務局】 中谷書記

議 題

1 請願等の意見陳述

- (1) 請願第20号 波佐診療所の移転拡充に関する請願について
- (2) 陳情第183号 市民に有効な凍結災害防止対策の検討を求める陳情について

2 請願第20号 波佐診療所の移転拡充に関する請願について

3 陳情審査

- (1) 陳情第183号 市民に有効な凍結災害防止対策の検討を求める陳情について

4 議案第8号 浜田市貸付金の返還債務の免除に関する条例の一部を改正する条例について

5 議案第16号 浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について

6 議案第17号 浜田市地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例の制定について

裏面あり

- 7 議案第 18 号 浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 8 議案第 21 号 浜田市集落排水施設条例及び浜田市集落排水事業受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例について
- 9 執行部報告事項
- (1) インフルエンザ予防接種費用助成及び浜田市外来検査センターの実施状況について **【健康医療対策課】**
 - (2) 浜田市子育て世代包括支援センターについて **【子育て支援課】**
 - (3) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラスについて **【子育て支援課】**
 - (4) 新型コロナウイルスワクチン接種対応について **【新型コロナウイルスワクチン対策室】**
 - (5) 第 3 次浜田市環境基本計画の策定について **【環境課】**
 - (6) 「浜田市風力発電事業に関するガイドライン」の策定について **【環境課】**
 - (7) インクカートリッジの回収について **【環境課】**
 - (8) 令和 3 年度 地方税制改正の概要について **【税務課・資産税課】**
 - (9) その他
(配布物)
 - ・浜田市障がい福祉計画（第 6 期）・浜田市障がい児福祉計画（第 2 期） **【地域福祉課】**
 - ・浜田市高齢者福祉計画 **【健康医療対策課】**
 - ・浜田市人口状況（R2. 11 月末～R3. 1 月末） **【総合窓口課】**
- 10 所管事務調査
- (1) 浜田市病児・病後児保育室及び浜田市休日応急診療所の整備に係る進捗状況について **【子育て支援課・健康医療対策課】**
 - (2) 乳幼児発達支援事業（巡回訪問）について **【子育て支援課】**
 - (3) 側溝の悪臭について **【環境課】**
- 11 その他
- 12 取組課題「子育て支援について」（委員間で協議）

請 願 文 書 表

受理 番号	件 名	請 願 者	紹介議員	受理 年月日
20	波佐診療所の移転拡充に関する請願について	波佐自治会 会長 三浦 兼浩 浜田市金城町波佐イ 441-1 小国自治振興会 会長 槇田 米利 浜田市金城町小国イ 165-1	永見 利久 川上 幾雄	R3. 2. 4
付託委員会		審査経過（委員会）	審査経過（本会議）	結果 年月日
福祉環境委員会				
1 請願の要旨 新型コロナウイルス感染症対策の為に改善(診療室の増加、感染予防に必要な動線確保等)が必要となった現在の波佐診療所に代わる医療介護施設として「波佐さんあいホーム」を整備してください。 2 請願の理由 平素より、波佐 小国地域医療の確保と充実に向けた活動に心から敬意を表します。 令和元年12月、診療所医師の退職に伴う診療体制の変更が公表され、波佐診療所小国出張所の診療日が縮小されました。また、令和2年1月には、浜田市金城高齢者生活福祉センター(さんあいホーム)のデイサービスを廃止することが利用者に通知され、距離や気象等の地理的条件が不利な波佐・小国地域では、民間事業者の代替も厳しいこと、また、地域の医療や介護の環境がどんどん縮小される状況に不安や不満が広がり、地元自治会が中心となって、地域の医療や介護等を考え実践する「波佐小国地域医療等課題検討協議会」を令和2年2月に立ち上げ活動を行っております。 この協議会は、医療介護の課題解決に向けて、波佐診療所や浜田市の関係部署を交え、情報収集や意見交換を行い、地域住民の生活実態の聞き取り調査などを行いながら課題の解決策を模索しております。情報収集の中で表面化した移動手段の確保対策では、協議会を構成する地元自治(振興)会が主体となって、買い物タクシーの運行や無償ボランティア輸送の試験運行を開始しております。 こうした中、新型コロナウイルス感染症対策が波佐診療所でも始まり、身近に受診できる環境には大変感謝しておりますが、診察室が限られ、これまで受けていたエコーや胃カメラなどの検査や点滴、外傷縫合などの治療は、感染症対策と同じ部屋で時間調整が図られ、物療の一部は中止されました。また、狭い空間での待合や移動は大変不安で、これらの早期改善を強く望むものです。				

波佐診療所は、無医村の時代に地域住民の懇願により、昭和 33 年に国民健康保険直営診療所として開所され、今日まで、地域住民はもとより金城地域住民の医療拠点として重要な役割を担っています。

また、平成 11 年に開所された「波佐さんあいホーム」は、地域の高齢者が健康で活力に満ちた暮らしができるよう整備されたものですが、現在は浜田市金城高齢者生活福祉センターに機能が集約され、遊休施設となっています。この活用については、地域においても色々と検討してきたところですが、現診療所に比べて面積は広く、感染症対策で重要とされる動線も確保でき、また、バリアフリーで誰もが利用しやすい施設で、波佐・小国地域の在宅介護を担うヘルパーや訪問看護師、ケアマネージャー等が利用する部屋も確保できる、在宅介護の促進にも大変期待できる施設です。「波佐さんあいホーム」は、現状の医療介護の環境改善に適した施設と考え、地域住民一同は、この活用を心から願うものであります。浜田市議会におかれては、実情をご賢察いただき何とぞご理解を賜りたく、地域住民の署名を添えて請願要望いたします。

浜田市議会

議長 川神 裕司 殿

請 願 書

波佐自治会会長 三浦 兼浩

小国自治振興会会長 横田 米利

紹介議員 永見 利久

紹介議員 川上 幾雄



請願の件名 波佐診療所の移転拡充に関する請願

請願の要旨

新型コロナウイルス感染症対策の為に改善(診療室の増加、感染予防に必要な動線確保等)が必要となった現在の波佐診療所に代わる医療介護施設として「波佐さんあいホーム」を整備してください。

請願の理由

平素より、波佐・小国地域医療の確保と充実に向けた活動に心から敬意を表します。

令和元年12月、診療所医師の退職に伴う診療体制の変更が公表され、波佐診療所小国出張所の診療日が縮小されました。また、令和2年1月には、浜田市金城高齢者生活福祉センター(さんあいホーム)のデイサービスを廃止することが利用者に通知され、距離や気象等の地理的条件が不利な波佐・小国地域では、民間事業者の代替も厳しいこと、また、地域の医療や介護の環境がどんどん縮小される状況に不安や不満が広がり、地元自治会が中心となって、地域の医療や介護等を考え実践する「波佐小国地域医療等課題検討協議会」を令和2年2月に立ち上げ活動を行っております。

この協議会は、医療介護の課題解決に向けて、波佐診療所や浜田市の関係部署を交え、情報収集や意見交換を行い、地域住民の生活実態の聞き取り調査などを行いながら課題の解決策を模索しております。情報収集の中で表面化した移動手段の確保対策では、協議会を構成する地元自治(振興)会が主体となって、買い物タクシーの運行や無償ボランティア輸送の試験運行を開始しております。

こうした中、新型コロナウイルス感染症対策が波佐診療所でも始まり、身近に受診できる環境には大変感謝しておりますが、診察室が限られ、これまで受けていたエコーや胃カメラなどの検査や点滴、外傷縫合などの治療は、感染症対策と同じ部屋で時間調整が図られ、物療の一部は中止されました。また、狭い空間での待合や移動は大変不安で、これらの早期改善を強く望むものです。

波佐診療所は、無医村の時代に地域住民の懇願により、昭和33年に国民健康保険直営診療所として開所され、今日まで、地域住民はもとより金城地域住民の医療拠点として重要な役割を担っています。

また、平成 11 年に開所された「波佐さんあいホーム」は、地域の高齢者が健康で活力に満ちた暮らしができるよう整備されたものですが、現在は浜田市金城高齢者生活福祉センターに機能が集約され、遊休施設となっています。この活用については、地域においても色々と検討してきたところですが、現診療所に比べて面積は広く、感染症対策で重要とされる動線も確保でき、また、バリアフリーで誰もが利用しやすい施設で、波佐・小国地域の在宅介護を担うヘルパーや訪問看護師、ケアマネージャー等が利用する部屋も確保できる、在宅介護の促進にも大変期待できる施設です。

「波佐さんあいホーム」は、現状の医療介護の環境改善に適した施設と考え、地域住民一同は、この活用を心から願うものであります。

浜田市議会におかれては、実情をご賢察いただき何とぞご理解を賜りたく、地域住民の署名を添えて請願要望いたします。

令和 3 年 2 月 4 日

浜田市議会 議長 川神 裕司 殿

請願者

住 所 島根県浜田市金城町波佐イ 441-1
団体名 波佐自治会
氏 名 会長 三浦 兼浩



住 所 島根県浜田市金城町小国イ 165-1
団体名 小国自治振興会
氏 名 会長 横田 米利



紹介議員 永見 利久



紹介議員 川上 幾雄



波佐診療所の移転拡充に関する署名

柚根町内会	29 名	深笹上町内会	14 名
徳田上町内会	13 名	深笹下町内会	10 名
徳田中町内会	24 名	後山町内会	9 名
徳田下町内会	21 名	東谷下町内会	27 名
小国郷町内会	42 名	東谷上町内会	19 名
田ノ原町内会	21 名	登り谷町内会	10 名
若生町内会	15 名	大井谷町内会	39 名
西谷上町内会	12 名	長田郷町内会	22 名
亀谷原町内会	22 名		
新井屋原町内会	17 名		
馬場町内会	30 名		
菅沢町内会	27 名		
弋手原町内会	36 名		
三栄町内会	40 名		
署名合計	499 名		

陳 情 番 号	183
付託先委員会	福祉環境委員会
審 査 結 果	

令和3年 2月12日

浜田市議会議長 様

住 所 浜田市日脚町184番地1

氏 名 森谷公昭 

市民に有効な凍結災害防止対策の検討 を求める
にやその陳情

- 1 陳情の趣旨（陳情により市の行政等に求めることを簡潔に記入してください。）
別紙

- 2 陳情の理由・背景
（趣旨に記載した事項を要望するに至った理由などを簡潔に記入してください。
欄が足りない場合は、別紙・次葉をつけて頂いたもかまいません。）
別紙

- 3 意見陳述の希望 ☒ 有 ☐ 無 （○をつけてください）
（「陳述に関する確認事項」に違反した場合は、
委員長の判断で「陳述中止」になることがあります。）



要旨

凍結災害の教訓を活かし、市民が対応可能な具体的で有効な広報等を検討してほしい。

説明

今から5年前、平成28年（2016年）1月下旬に凍結災害があった。

最低気温は1月22日が2.6度、23日が-0.5度、24日が-5度、25日が0.2度であった。

1月25日（月）には、大規模な断水のため自衛隊を呼んだが、久保田市長はその自衛隊に会わずに、翌26日には大阪、和歌山方面へ出張に出発された。（自衛隊本部長には終わってから電話したと聞く）

1月27日の福祉環境調査会（災害の最中で混乱した状況での発表）、

2月4日の全員協議会（少し検証が進んでの発表）、

2月26日の議会一般質問（災害の検証も進み、今後の対策を検討）

にて、議員の様々な質問への回答が浜田市からあった。

●1月27日の福祉環境調査会では

漏水1300件。

凍結の注意は呼びかけたが対応ができなかった。

心構えができていれば大丈夫。断水のはっきりした理由はわからない。

25日23時からの断水予定（空になる前に断水しないと空気が入りさらに大変になる）が、20時30分にはタンクが空になり断水。前日の周知はむづかしい。当日の昼に断水を決めてからの広報になる。

HP、防災メール、防災無線、広報車などが周知はむづかしい。広報の仕方には課題がある。

良い教訓になった。今後の寒波に向けての対策の参考にし、周知する。

20時30分の断水判断は副市長の責任。いや、判断する前に水がなくなったので断水した。（混乱している）

●2月4日の全員協議会では

大規模断水は6日間、1月30日まであった。

各課において、課題を洗い出し、検証し、今後の対応改善に活かしたい。

断水長期化の大きな要因は「空き家の漏水」

今後の改善点を検証中。

空き家について検針員による漏水調査速やかにできる方法を検討中。

家庭内漏水防止の広報の仕方は改善できる。

高齢者世帯での凍結防止対策が取れない。

凍結防止策の取れない若者に具体的な方法に改善。

市民への周知は、防災無線、メール、ケーブルテレビ、HP等で行っている。

Facebook、Twitter、LINEも重要だと思うので検討していきたい。

25日、月曜に対策本部を設置、断水の一番の原因は漏水の可能性ありと判断していた。

- ① 節水の呼びかけ ② 漏水の確認と対応 ③ 断水するかどうかの判断 ④ 市民への周知と給水体制

市長には断水や凍結被害よりも、重要なものもある。災害対応は副市長に任せた。

旭自治区は断水がなかった。空き家の漏水箇所を止めていった。どこが空き家か職員の頭に入っている。スピーカーでの断水の知らせはとぎれとぎれで聞こえにくい。女性の広報車の声はよく聞こえた。

●2月26日の3月定例会一般質問では、

上下水道部の管理職は出勤1名だった（他県では30人泊まり込みのところもあった）。（早朝に-5度）2000件を超える漏水。

空き家対策が重要なので速やかに実施。

4点について市長が指示 ①節水の呼びかけ ②漏水のチェック ③断水の決断周知 ④給水体制
消防団出動について、金城は消防団から自治区長に出勤要請があり消防団が出動することになった。
自治区長が判断されることはスピーディーで理にかなっている。

大きな災害になった場合は消防団の活動も必要になってくる。（矛盾？）

消防団一元化の中で出動指令の出し方などを調整しており、今後検討していきたい。

消防庁と消防署長との連携のもとに出動の指示は出せる。（自治区長判断の正当性と矛盾？）

給湯器の破損が想定を超えていたため漏水被害が大きくなった。

具体的凍結対策を広報し、空き家を中心とした漏水防止の対策を行うことで被害を食い止めたい。

給湯器には何パターンがあるのでそれにより凍結防止方法が違うが、わかりやすい広報に努める。

これらの検討が活かされていれば、以後の凍結災害は防げるのではないかと思う。

しかし、課題があるとか 改善に活かしたいとか 検討中とか 検討していきたいとか 給湯器の対策のわかりやすい広報に努めるとか 食い止めたいとか 空き家対策が必要とか 私が知る限り「具体策」は発表されておらず、抽象的で「この場を乗り切るための言い訳」に過ぎないように感じた。

残念なことに、今年（令和3年）の1月上旬（7日8日）に凍結災害が発生してしまった。

5年前（平成28年）の教訓が活かしていないことが分かった。

具体的な対策は作成されなかったのか？なぜか？

作成されていたのなら、なぜ災害が防げなかったのか？

現在、私は詳しく知る立場にいないので、今年の災害についての詳細がわからないため検証できない。

凍結災害の再発を防ぐためにも、実効性のあるわかりやすいものを作らないと再発を防げない。

旭町の「経験したから身についている」という方法では、凍結災害は防げない。

通常4年間しか浜田に住まない大学生、アパートに引っ越ししてきたばかりの方。こういう方々にも対応できる「広報の方法・現実的な内容」を具体的に決めない限り凍結災害の発生は防げないのではないか？

2021年	曜日	気温		2016年	曜日	気温	
令和3年				平成28年			
				1月21日	木		
				1月22日	金	2.6度	
				1月23日	土	-0.5度	
1月7日	木	-4.0度	屋外凍結	1月24日	日	-5.0度	
1月8日	金	-3.6度	屋内凍結	1月25日	月	0.2度	自衛隊21時到着
1月9日	土	-2.6度		1月26日	火		市長出張 断水
1月10日	日	-1.0度		1月27日	水		断水
1月11日	月	1.0度		1月28日	木		
1月12日	火						
1月13日	水						
1月14日	木						

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議
		● 1月27日		福祉環境調査会		

福祉環境調査会記録

平成 28 年 1 月 27 日(水)

全 員 協 議 会 室

10 時 00 分 ～ 12 時 15 分

【委 員】 道下委員長、足立副委員長、柳楽委員、小川委員、森谷委員、平石委員
 笹谷委員、西村委員

【委員外議員】 芦谷議員、原田議員、佐々木議員、牛尾昭議員、江角議員、笹田議員

【議長団】 西田議長

【執行部】 川崎健康福祉部長、杉本健康福祉部次長（地域福祉課長）

猪木追地域医療対策課長、中田健康長寿課長、有栖子子育て支援課長

宮崎市民生活部長、三浦市民生活部次長（医療保険課長）

村越総合窓口課長、（代理：龍河総合窓口係長）原田環境課長

吉永金城支所長、山田市民福祉課長

田村旭支所長、佐々尾市民福祉課長

細川弥栄支所長、岡本市民福祉課長

斎藤三隅支所長、大田市民福祉課長

山本上下水道部長、小川上下水道部次長（管理課長）、岸本工務課長

塚田下水道課長

リヤマ

【事務局】 外浦書記

議 題

1 執行部報告事項

- (1)臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について
- (2)証明書コンビニ交付の利用状況について
- (3)個人番号(マイナンバー)通知カードの送達状況及び相談窓口利用状況について
- (4)浜田市火葬場整備計画の見直し(案)について
- (5)ごみ処理基本計画後期 5 ヶ年計画の策定について
- (6)浜田市水道料金審議会の答申について
- (7)水道料金改定最終案の延期について
- (8)柵生水源地跡地の利活用について
- (9)その他

2 その他

平成 28 年度福祉環境委員会行政視察について

【議事等の経過】

[10時00分 開議]

道下委員長

定刻となったのでただいまから福祉環境調査会を開催いたします。今日は森谷委員が所用で欠席しています。欠席届も出されています。それから吉永支所長、田村旭支所長、上下水道部部長あるいは岸本工務課長が欠席となっています。私と副委員長の判断で丁承しましたのでよろしくお願いします。

それではレジュメに沿って会議を進めさせていただきますが、ご承知のとおり断水等で上下水道部の皆さんは仕事が山積している状況ですので、今回の執行部報告事項については6、7、8番を先にやらせていただきます。

断水状況について

道下委員長

では断水等について説明いただきます。上下水道部管理課長。

上下水道部管理課長

(以下、資料をもとに説明)

澁谷委員

東北や北海道など浜田より寒い地域がありますが、そういう所で断水がなくて浜田で断水というのは、どういった理由が考えられますか。 1/26(水)

上下水道部管理課長

昨日までの集計で、業者に入っている漏水修繕依頼が1300件あまりあります。浜田は県内でも氷点下まで下がることがないので、凍結の注意は呼びかけたもののなかなか対応が出来てなかったことと、空き家での漏水があると思われます。何故1300件も出たのかは、やはり事前対策の影響だと思います。東北や浜田でも山間地では毎年凍るので、心構えが出来ていれば大丈夫だと思いますが、そうでない所ではなかなか対策がとれなかった部分もあるのではないかと思います。はっきりした理由は分かりません。

澁谷委員

寒冷地は凍りやすいから凍りにくい管を使っているからだとか、そういうことはないんですか。

上下水道部管理課長

それもあるかと思います。

澁谷委員

25日の段階で浜田の断水が全国報道されましたが、実際昨日見ると九州の方が断水で自衛隊が出動したと。何故あれほど浜田が話題になったのかが分からなかったのですが、何か理由があるんですか。

上下水道部管理

マスコミが取材に来られた理由は私どもでは分かりません。

澁谷委員

断水の案内で結構苦情がありました。11時から一部地域で断水す

ると言われていて、実際は9時から断水しているとか。貯水池の関係もあるでしょうが、前もって時間を修正していただいた方が市民も用意が出来ると思うのですが。アナウンスと現場との連携はどうだったのですか。

上下水道部管理課長 広報の仕方については今回非常に課題が残ったと思っています。11時からと言っていたのが実際は8時半には空になったので。このあたりの周知の仕方です。まず高い方から止まっていくと聞いたのでその辺りから順に車で周知して回りましたが、震域でも断水したのでそちらにも人を割いたりして大変でしたが、広報の仕方については言われるとおりの課題が一杯あったと思っていますので、今後は充分配慮したいと思います。

ただ、出来る限り断水しなくて済むようにしたいのが本音なので、前日前々日の周知というのは難しく、当日の昼頃に断水の判断を決めてそれからの広報になるので。ホームページや防災メール、防災無線、広報車を回すといった形は取りますが、なかなか全体に周知するのは難しいので、広報の仕方については課題があると思っています。

健康福祉部長

私は本部員で会議に出ていますので少し補足させていただきます。断水の実施を決めるのは、昨日は2時でしたが今日は12時頃に決める予定です。その時に配水池の水量の時間推移を見て、どのくらいまでもつかをある程度想定して、それを本部会議にかけて決めています。澁谷委員が仰った点は今日の会議で報告させていただき、どのくらい前倒しが適当なのかは協議することになると思います。それから広報します。

澁谷委員

地域によっては管を布で巻く方法などを指導する自治体もあるそうなので、今後に向けて是非検討をお願いしたいと思います。

上下水道部管理課長

今年の防寒対策については、水道部職員が説明する5分か10分程度の番組を作ってもらい12月にケーブルテレビで流しました。一番良いのは、水道代がかかりますが止水栓から一番遠い水道を少しずつ流し続けるのが確実な方法です。ただ布を巻いただけでは効果が無い場合があるので。今回は大変良い教訓になりましたので、今後の寒波に向けてどういう対策が取れるか今後の参考にして、周知を図っていきたいと思います。

道下委員

その他。

足立副委員長 色んな所で水を配っていますが、老夫婦世帯や独居老人などポリタンクを持ち帰る力のない方々のサポートはどのようになっていますか。

上下水道部管理課長 今回の場合は職員が持っていった所もあります。あるいは町内会長さんがまとめて持ち帰って配ってくださった事例もあります。どうしても無理だという電話連絡があった場合は職員が運ばせていただいたので、そういう対応を今後もしていこうと思います。

足立副委員長 先ほど川崎部長から、^{14時(水)}昨日は14時くらいに断水を決定したという話がありました。今朝の新聞を見ると、どうも市長が午後か夕方からご不在だったようです。23時の断水予定が20時30分からと繰り上げて断水されましたが、そうした最終判断は誰がされたのですか。

健康福祉部長 市長不在時は副市長に判断を任されていますので、副市長がトップで判断しています。

足立副委員長 NHKの7時のニュースのトップで、浜田市が約1万5000世帯断水とニュースに流れました。自衛隊にも4台の車両を派遣してもらったと。浜田市がこれほど大変な時に、市長は居なくても良いと言えるほど重要な出張だったのか。この調査会で言うべきことではないだろうとは思いますが、大変理解しがたいと思います。20時30分まで繰り上げて急速断水を行ったことは、副市長が全責任を負われるものと判断して良いかお尋ねします。

上下水道部管理課長 昨日の11時に予定していた断水を8時半に繰り上げた件ですが、これはここで判断して決定したのではなく、物理的に水が無くなったので断水してしまったため、すぐ本部に報告してやらせてもらった形になっています。見通しが甘かったと言われたらそのとおりですが、一昨日までの状況を見る限りでは11時までもつだろうと水道部で協議し、本部会で決定してもらいました。物理的なものでありどうしようもなかったことをご理解いただければと思います。

道下委員長 その他は。

平石委員 対応については皆さん頑張っているのでも感謝したいと思います。電気もこういう状況の時は職員も大変苦労しているとよく分かっているの、上司の方々は現場の方々が倒れないように健康状態をよく見ていただくようお願いします。

先ほど副委員長が言われましたが、緊急事態において市長が不在

になるのはやはり良くない事だと思っていますので、これについては何らかの所で言わせていただきたいと思います。

道下委員長

その他よろしいですか。では議題に入らせていただきます。

1 執行部報告事項

(6) 浜田市水道料金審議会の答申について

(7) 水道料金改定最終案の延期について

(8) 相生水源地跡地の利活用について

道下委員長

小川管理課長。

上下水道部管理課長

道下委員長

澁谷委員

(以下、資料をもとに説明)

委員から質疑をお願いします。

値上げ延期は大変結構ですが、財政的に苦しいから値上げせざるを得ないというのがこれまでのお話だったと思います。これによって中期財政計画への影響はないのかお尋ねします。

上下水道部管理課長

飽くまでも最終案の決定と条例改正を延期したのであり、値上げを延期したわけではありません。ただ、書いてあるように国の方針で延長にうちが該当するようになれば、統合そのものを延期しても簡易水道も上水道も残ったままでいくので何も変わりません。中期財政計画は全て組んでありますから若干影響は出てくると思いますが、上水道で国で繰入れしようとしていた分はなくなるわけで、先に延びれば延びるほど中期財政計画への影響は……。

市民生活部長

中期財政計画上は統合時期と料金改定時期を 29 年度からと定めていますから、そこで公営企業として水道が独立するとなっていますから、それに対する負担を見えています。ただ今回の延期理由の中の更なる値上げ抑制の中からも出てきますが、実は交付税で見えてくるのがあります。簡易水道は状況不利だから交付金対策で見えてくるというのがあり、それを交付税で受けて簡易水道側に直接・間接的に出している格好になっていて、その部分が少し議論されています。なくなるのが緩和される可能性が出てきています。それがはっきりすれば市から出すお命も変わってきます。特別会計そのものがどうかという問題も出てきます。

もう一つ大事なのが、統合延期になれば 29 年から企業会計になる予定が先伸ばしになれば全然変わってきます。今のままが 3 年経き 4 年目からとなります。

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議
	●2月4日	全員協議会				

このとおり作成しましたので報告します。

全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成28年2月4日（木）

開 催 時 間：10時00分～13時14分

開催場所：全 員 協 議 会 室

〔出席議員〕

西田議長、平石副議長

足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員

上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員

道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員

牛尾昭議員

〔執行部出席〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長

教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長

産業経済部長、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長

教育部長、消防長、上下水道部長（広域行政組合事務局長）

〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

（報道）NHK、山陰中央新報社、中国新聞、朝日新聞

議 題

1 執行部報告事項

（1）寒波による水道管破損に伴う断水状況について

（2）浜田市有料駐車場の指定管理について

（3）「行財政改革実施計画」・「公共施設再配置方針及び第1期公共施設再配置実施計画」策定に係る議会意見交換会の開催について

（4）シングルペアレント介護人材育成事業（第2期生）の申請状況について

（5）浜田城周辺整備（城山公園整備）の検討状況について

（6）国補正予算（第1号）に係る対応について

（7）平成27年度浜田市ふるさと寄附の状況について

（8）浜田市火葬場整備計画の見直し（案）について

（9）高度衛生管理型荷捌所の整備動向について

（10）浜田市教育大綱について

（11）市立幼稚園の統合について

（12）浜田市水道料金審議会の答申について

（13）水道料金改定最終案の延期について

（14）相生水源地跡地の利活用について

（15）その他

（配布物）

・行政不服審査法の改正について

【裏面へ続く】

- ・浜田市封筒デザイン公募について
 - ・各支所庁舎耐震診断結果（速報値）について
 - ・平成27年国勢調査 浜田市人口速報集計結果について
 - ・浜田市過疎地域自立促進計画の策定について（中間報告）
 - ・地域資源等の活用推進の取組について
 - ・まちづくり総合交付金制度説明会の日程について
 - ・浜田市地域公共交通再編計画の策定等について
 - ・「平成27年度2月版浜田市税だより」の発行について
 - ・浜田市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について
 - ・臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について
 - ・証明書コンビニ交付の利用状況について
 - ・個人番号（マイナンバー）通知カードの送達状況及び相談窓口に利用状況について
 - ・ごみ処理基本計画後期5ヶ年計画の策定について
 - ・萩・石見空港利用者の状況について
 - ・浜田市情報発信サイト「Hamada Diary」サイト公開について
 - ・中国電力（株）による火力電源入札の落札者決定について
 - ・漁業別水揚げについて
 - ・「浜田港四季のお魚」認証店マップ はまごち加盟店マップについて
 - ・浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協定締結1周年記念フォーラムの開催について
 - ・平成27年度卒業（園）式及び平成28年度入学（園）式日程
 - ・平成28年度 全国高等学校総合体育大会体操競技について
 - ・美又温泉国民保養センターについて
 - ・旭温泉あさひ荘木質チップボイラの再稼働に向けて
- 2 その他
- （議会関係配布物）
- ・浜田市議会委員会条例
 - ・浜田市議会説明用パネル取扱い要綱
 - ・「会派代表による一般質問」実施要綱
- （職長）
- ・政務活動費の視察報告書の提出について
 - ・フェイスブックの取り扱いについて

【詳細は会議録のとおり】

西田議長

ただいまから全員協議会を開催する。

1. 執行部報告事項

(1) 寒波による水道管破損に伴う断水状況について

西田議長

久保田市長

この件について、市長。

断水等の報告に先立ち、私から最初に発言させていただく。先週の大寒波襲来により発生した水道管破損に伴う大規模な断水においては、皆さまに大変ご迷惑をおかけしたことをまずもってお詫び申し上げる。断水は市内ほぼ全域で発生し、最も長い所では6日間におよび30日(土)午前9時まで行われたが、それ以降は復旧している。断水期間中は市民や事業者の皆さまに多大なるご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げたい。また節水についてもご理解とご協力を賜ったことに感謝を申し上げたい。

このたびの大雪、断水への対応については、1月25日に災害対策本部を設置し全庁的に対応にあたったが、取り組みにおいていくつか課題も見受けられる。現在、各課において今回の事案について課題を洗い出すとともに、それを検証し今後の対応改善に活かしたい。

また、今回の断水が大変長期化した要因の一つに空き家の漏水が随分あった。この対策についても検討しなければならない。

この後、今回の雪害の全体的なことについては総務部長から、そして水道管破損に伴う断水については上下水道部長からご報告させていただきたい。

総務部長

(以下、資料をもとに説明)

上下水道部長

(以下、資料をもとに説明)

西田議長

説明が終わったが、議員から質問等があれば、森谷議員。

森谷議員

会議の格があるような言い方をされたが、何種類あってどの辺なのか。例えば平成25年8月24日の水害の規模ならどの格か。

総務部長

基本的に大規模災害の場合は災害対策本部会議を招集することになっているが、災害規模により、その前段である準備態勢等の会議をしている。25年水害の時には、確か災害対策本部会議を設置したと記憶している。

森谷議員

また寒波が来るかもしれないので対策を考えて発表するということを言っておられたが、今の時点で改善した点は。

上下水道部長

今は改善点を検証中である。例えば空き家部分をどうするか、例えば災害協定等を結ぶ中で検針員による漏水調査を速やかに実施出来るような方法を現在検討している。→

森谷議員

では今日明日に寒波が来た時に、同じようなことを繰り返すのか。

上下水道部長

今回は家庭内の漏水が大きな原因のため、その広報の仕方は改善出来ると思う。例えば高齢世帯で今までのような凍結防止対策が取れなくなっている実態があります。あるいはアパート等に入居する凍結防止策の知識がない若者等に少し具体的な方法を含めて広報するような方法に改善していきたい。

森谷議員

凍結注意という漠然とした言い方はあったが、そう言われても何をすべきかの具体的な指示がなかった。ケーブルテレビはお金を払って加

入している人しかわからない。Facebook、Twitter、LINEといった、凍結の対応方法を知らない若者に対してすごく有効なのに、私が頼んでも意識しておられなかった。通信体制や広報体制の不備が原因ではないか。

上下水道部長

先ほどご報告したとおり、市民への周知については防災行政無線、メール、ケーブルテレビ、ホームページ等で行っている。議員のおっしゃった部分については重要だと思うので検討していきたい。→

森谷議員

本部会議が開かれて、災害が起きている最中に市長が浜田を離れられたそう。危機感が薄いのではないかと。どういう理由があったのか。

久保田市長

防災事案については市長が率先して対応するものと私も認識している。今回の大雪についても、災害対策本部は月曜午後に設置されたが、その前の土日から電話連絡等も含めて状況確認をしながらやってきた。月曜に対策本部を設置して状況確認をしているが、その際には漏水が一番…断水の可能性があると判断はしていた。対応は大きく4点。①節水の呼び掛け、②漏水の確認とその対応、③断水をするかどうかの判断、④市民への周知と給水体制。私は本部長としてこれを月曜に協議し対応した。

市長は防災対応を最優先でやるべきだが、他にも市長は色んな課題を背負って対応しなければならない。水曜には、浜田市の将来に影響する可能性のある大きな課題について関西方面で協議をしなければならなかった。先方の都合がつかず、どうしてもこの日に協議をしたいという事情があった。3月議会にかけると関係しているし、今後提出予定だが地方創生関係の案にも関わる大きなテーマの協議だった。そのため月曜にこの出張をどうするか協議した。月曜にはだいたいポイントを確認したので、火曜から入っていた副市長の出張を急遽取り止めてもらい、火曜は副市長が本部会議に出席し、私と連絡を取りながらやろうと。火曜の朝は浜田道が通行止めになり、行くかどうかの判断を相談の上で決め、まず広島まで出て、新幹線に乗る前に本当に乗っていくべきかを電話協議し、何かあれば帰ってくるという前提のもとで行くと判断した。

確かに議員がおっしゃるように、こういった事案の時に出張していいのかという指摘については、ごもっともだと思う。しかしこのタイミングでどうしても将来の浜田に関連する大きな事案について協議しておきたかったため、市長代理である副市長に会議を仕切ってもらって対応した。

なお、この間も副市長とは頻りに電話で連絡を取り合い状況確認もしているし、電話越しに本部会議へ参加したりもした。

森谷議員

私は出張の方へ副市長が代行するべきだったと思うが、まあいい。

読売新聞に出ていたが、4年前に災害があつてきっちり対応したという熊本県荒尾市では、30人が日曜から全員泊まり込み体制で出ていたと言われている。今回、土日の凍結に対する人員配置はどのようになっているか。

総務部長

寒波襲来による凍結の対応について、安全安心推進課は情報提供するため終日登庁して対応している。これ以上の話については今は情報がないため後ほど報告する。

森谷議員

タンクから水が減って断水の恐れがあることは推測出来たと思う。荒尾市では前もってタンクを満タンにする準備もしておられるそうだが、浜田市はどうか。それと、今も漏水があるはずなので検針員は早いサイ

上下水道部長

クルでのチェックが必要だと思うが、どのような準備をしているか。
。今回の配水池の状況は、24日までは正常。24時間監視を行っており、急激に減ってきたのが25日(月)の午前中からだった。当初は急激な水位低下ということで水道本管の漏水を疑い、まずは調査をすぐ実施した。配水池は基本的に常に満水である。

森谷議員

検針員だが、特に浜田自治区は約2万世帯あるので現在も調査中で、本日終了予定になっている。今回の検針員の実施をもう少し早くということだが、初めてのケースであり特に浜田自治区は件数が多いので、実際に検針を行っている委託会社とすぐ連絡を取ったのだが、通常業務とは違う形であり、実施出来たのが27日からである。

総務部長

金城以外は消防団が出動しなかった。消防団にスコップで雪かきをしてもらう等、折角1000人近くいるのだから人海戦術が出来たと思うが、敢えて消防団に出てもらわなかったのは何故か。

消防団の要請については各自治区長の判断に任せている。浜田自治区においては市長あるいは消防長となっている。金城自治区は自治区長の判断でなされたのだろうが、他自治区については要請がなくても対応出来るという判断をされたのだと考える。

森谷議員

併せて先ほどの人数のご質問に回答させていただく。23日は職員は登庁していないが、24日の朝3時35分に警報が発令されたのを受け、課長が3時45分に登庁した。それ以後、安全安心推進課の職員が順次5人登庁し対応にあたった。

西田議長

金城は岡本自治区長が要請したのではなく、消防団から押し売りのような形で仕方なく出動要請をされたという形ではないかと思っている。答弁は結構。

原田議員

他に、原田議員。

23日からの寒波豪雪については執行部の皆さんも大変だったと思う。これから色んな面で十分に検証していただき、次にこうしたことが起こった時に対応が出来るように願います。

旭支所長

参考に関きたい。旭自治区は断水がなかったとのことだが、凍結防止策等の色んな対応が取られて万全な処置があったためか。

旭自治区はギリギリ断水を避けられた。旭は寒冷地ということもあり日頃から凍結防止の習慣が身についているし、漏水確認のお願いと節水についてはずっと防災無線等でお願いしてきた経緯があった。何より元水道部の経験者が数名いたので彼らの的確な判断で空き家対策等を迅速にやった。職員はどの家が空き家か全て知っているのので、集中的にチェックして漏水箇所を止めていったことで何とか対応が出来たと思っている。

原田議員

非常に良い対策が出来ていたのだと思う。他自治区も今後の参考にさせていただきたい。

西田議長

他に、足立議員。

足立議員

断水のことはだいたい分かったが、各自治区の積雪状況を教えて欲しい。

西田議長

資料がない。では後で。足立議員。

足立議員

今回断水の被害も大変あったが、積雪も各自治区である程度あったと思う。同じような積雪があった際に消防団を出されるのかどうかは自治

区長の判断に委ねるとの回答があった。今回はお一人お亡くなりになられている。先ほど市長は将来の浜田市のためにと言われたが、人命より重いものは無いと私は思っている。人命第一に考えて消防団の活用をしっかりしていただきたい。

健康福祉部長

それから福祉環境調査会の中でも話したが、このたびの断水の中で要援護者台帳の活用はどのようにされたのか。

足立議員

現在、避難行動要援護者ということで取り組んでいる件だと思う。今回について浜田自治区においては、特別それを活用しての協力要請等はない。金城自治区においては民生委員等を通じて、支援が必要な方あるいは小さい子どもさんがおられる方については支援が必要かどうかの問合せや支援をされたと聞いている。

断水時の給水等、**重い物を持ってない高齢者、家から出られない高齢者**も実際におられた。浜田市は適切に対応が出来たかどうか疑問を感じている。要援護者台帳の整備を今年度取り組んでおられた中で、これが活用されなかったことは大変残念に思う。

それから水道部の対応について市民から苦情が来た。断水が終わった後の水が白く濁っており、飲んでも良いのか分からなかった高齢者の方が水道部に電話したところ、それはカルキだと回答があった。ではカルキは飲んでも良いのかが分からない。求められた回答を出してもらいたい。浜田自治区は**スピーカーで断水状況を放送されていたが、男性の声で尚且つ途切れ途切れで聞こえづらい、何を言っているのか分からない**。自治区においては防災無線があったのである程度把握出来たが、旧浜田市においては何を言っているのかさっぱり分からないという問合せがあり、その点についても水道部に確認したが、私がかけた電話は二度切られた。大変混乱しているのはよく分かったのだが、こういう時こそ市民サービスを丁寧にしていただきたい。水道部長、どのようにお考えか。

上下水道部長

給水所まで取りに来られないという**問合せをいただいた方には、水道部職員が家庭まで直接届けた**。

総務部長

浜田自治区の防災無線なり広報車が非常に聞き取り難いという苦情を多くいただいた。現段階で出来る方法は実施するという事で行ったが、どこまで広報や周知が出来たかには疑問が残るので、改善点だと思う。

積雪状況について回答すると、1月25日5時現在の状況は旭町都川で**63センチ**、坂本**77センチ**、金城町波佐で**64センチ**、弥栄町安木**56センチ**、参考までに北広島町大佐山で**121センチ**と聞いている。なお市役所前は当時**6センチ**の積雪があった。

それと防災無線等が大変聞きづらいというご意見は市民から多数伺っている。これも課題として受け止めて何らかの対策を検討する必要があると考えている。

西田議長
野藤議員

他に、野藤議員。

水道料金の減免についてで、やる方向で分かり易い方法で周知したいと言われた。調査会の中で、**一軒当たり最大漏水量130トンくらい**あるとの話で、私も1軒見付けて独居の方の止水栓を止めたんですが、料金の事を気にしておられた。分かる範囲で良いのだが、どの程度の**減免方法**なのか。分かる範囲で。

上下水道部長

現在検討中であり市長とも協議していないので詳しいことは言いづら

いが、検針には奇数月と偶数月がある。今からだと2月中旬と3月中旬に検針をし、その際にいくら漏水したかが確定する。今回水道管や給湯器の破損によって修理修繕に出された家庭がまず対象になると思うが、高齢者世帯も相当数おられると思うので、これが申請方式だとすると減免をすることをまず理解していただかないといけないし、申請方法も非常に簡単にして誰でも申請出来る方法を検討している。漏れがあったら困るので全員に周知するにはどうしたら良いかを含めて検討している。減免金額については未決定だが、今ある浜田市減免規定は、床下漏水等を対象にしており漏水量の半分に減免している。しかし今回は自然災害によるものと思われるので、従来の方ではなく特別な方法が必要だと考えている。従来よりも拡大する方向で検討中。

野藤議員

私が止めた所は独居の方で耳も聞こえにくい方だったので、漏れが分からなかったのかと思う。130トンの半分といっても60トン以上となり相当な金額になる。年金だけで生活しておられるので、是非その部分は考慮していただきたい。答弁はよい。

西田議長
道下議員

他に、道下議員。

浜田自治区については行政無線が届かない。冬の夕方でも窓も閉め切っている。広報車も数は限られており、何を言っているか分からない状況だった。今ある消防積載車には拡声器がついているので是非利用して欲しい。次回から充分承知してもらって、消防団を有効活用して欲しい。

西田議長

他に、私も広報車の件だが、終盤に女性の声で広報車が回ってきた広報は聞きやすいし気持ちも和むということで、是非女性職員も今後ご活躍をお願いする、という市民の声を伺っている。では次の議題に移る。

(2) 浜田市有料駐車場の指定管理について

(3) 「行財政改革実施計画」・「公共施設再配置方針及び第1期公共施設再配置実施計画」策定に係る議会意見交換会の開催について

西田議長
総務部長
西田議長
澁谷議員

この2件について、総務部長。

(以下、資料をもとに説明)

説明が終わったが、(2)について議員から質問等があれば、澁谷議員。

これまで観光協会はいくつかのトラブルがあり、かなり議会でも議論になったと記憶している。昨年7月は監査委員からの報告書によって観光協会の内容に対し非常に厳しい指摘がなされていた。それを読んだ時に、このような厳しい指摘がある決算内容を認定することは出来ないと感じた。それを9月の決算委員会で質問させていただいたら、代表監査委員から「業務改善命令に対して監査委員から指摘していることに対して、半年近くもその回答がない団体は自分の経験上考えられない」という答弁をいただいたと私は記憶している。そういう極めて問題のある団体に、公募ではなく指名をすることは考えられないと私は理解していた。指名するということは執行部もそれなりに覚悟を持ってされたと思う。それが何故今になって「話が合わなかったから撤退」となるのか。訳が分からない。どういふことか。

総務部長

確かにこの件を指定管理制度の中で指名でやることについては、議員からも色々なご意見をいただいた。6月議会で条例提案をする際に、まち

0箇所ヒットがあります。

● 2月26日・3月定例会 - 一般質問

文字+

文字-

平成28年 3月定例会

平成28年3月浜田市議会定例会会議録（第4号）

1. 日 時 平成28年2月26日（金）午前9時57分開議
 2. 場 所 浜田市役所議場

出席議員（24名）

1番 足立	立	豪子	2番 岡	岡	野	克	俊
3番 柳	柳	真智	4番 串	串	崎	利	行
5番 小	小	稔	6番 森	森	谷	公	昭
7番 野	野	弘	8番 上	上	野	正	茂
9番 飛	飛	賢	10番 笹	笹	田	豊	卓
11番 布	布	英	12番 岡	岡	本	敬	友
13番 芦	芦	文	14番 佐	佐	木	清	治
15番 道	道	幹	16番 田	田	畑	博	二
17番 平	平	敏	18番 西	西	村		久
19番 湊	湊	和	20番 西	西	尾		健
21番 江	江	則	22番 牛	牛			美
23番 原	原		24番				昭

欠席議員（0名）

地方自治法第121条により説明のため出席した者

市長	久保田	章	市	副市長	金城	自治	近	重	哲	夫
教育長	石	本	夫	金城	自治	区	岡	本	利	道
旭自治区長	岩	谷	吾	弥栄	自治	区	山	根	和	貢
三隅自治区長	中	島	二	総務	部長		榎	田	邦	広
地域政策部長	砂	川	明	財務	部長		植		良	彦
健康福祉部長	川	崎	二	市民	生活	部	宮	崎	博	一
産業経済部長	中	村	博	都市	建設	部	下	垣	晴	史
教育部長	山	本	教	消防	長		河	上	靖	夫
上下水道部長	山	本	昭	金城	支所	長	古	永	靖	司
旭支所長	田	村		弥栄	支所	長	細	川	良	彦
三隅支所長	斎	藤		市長	公室	長	湯	浅	正	淳
総務課長	前	木		財政	課長		河	野		雄

事務局職員出席者

事務局長	三浦	直	生	次長	外浦	和	夫
議事係長	篠	原	修				

議事日程（第4号）

第1 個人一般質問

発言順序	発言議員	質問事項
1	22番 牛尾 博 美	1. 浜田自動車道の有効的な活用について 2. 「BUY 浜田」について 3. 浜田市・松阪市との兄弟都市交流協定の締結について 4. 浜田警察署跡地について
2	20番 西村 健	1. 浜田市のまちづくりにとって重要な各種計画について (1) 浜田自治区におけるまちづくりについて (2) 中期財政計画について (3) 行財政改革（大綱）及び行財政改革実施計画（素案）について (4) 公共施設再配置方針（素案）、第1期公共施設再配置実施計画

		(素案)について 2 介護予防・日常生活支援総合事業及び介護報酬引き下げの影響について
3	7番 野 藤 薫	1. 大寒波での水道管凍結破損、漏水について 2. 出産、育児休業後の復職での、保育所入所について 3. 事業所ごみ、収集方法の変更について 4. ごみ屋敷について 5. 浜田城公園整備計画について 6. 市内商業者への側面的支援について 7. 浜田警察署移転に伴う安全安心への対応について
4	6番 森 谷 公 昭	1. 君市陸橋について (1) 住民への対応について 2. 保育料の無料化と親への保育料支払いについて (1) 親への支払いについて 3. 凍結災害について (1) 事前の体制について (2) 災害中の体制について (3) 今後の改善について (4) 水道料金値上げについて 4. 消防組織の真剣な改善について (1) 火災時の出動について (2) 処分の公正さについて (3) 実効ある改善策について 5. 他市の財政努力について (1) 過疎債も可能な合併した自治体について (2) 平成28年度の一般会計予算案について 6. 元気な浜田事業について (1) ハード事業とソフト事業について (2) 人件費について (3) 職員削減計画について 7. 箱物について (1) 再配置計画の集計方法、表示方法について 8. 再配置計画の重さについて (1) 合併による問題について (2) 集計、表示のしかたについて 9. 民間企業の利用について (1) 市営駐車場の指定管理について (2) 青サボの移転先について 10. インバウンドについて (1) 来ていただく体制について 11. 研修等のあり方について (1) 研修・視察について (2) テーブル起こしの企業誘致について 12. 会津屋（今津屋）八右衛門について 13. 督促状の同封書類について
5	2番 岡 野 克 俊	1. 学力向上について (1) 学力向上のための新しい学校教育について (2) 家庭学習の重要性について 2. 全国で大盛況な浜田市へのふるさと寄附について (1) 28年度ふるさと寄附の状況について (2) 企業からのふるさと寄附について

本日の会議に付した事件
議事日程（第4号）のとおり

会 議
午前9時57分 開議

◆6番(森谷公昭) 私今回から会派をつくりまして、会派の名前は自己主張と書きます、自己主張。自己主張の己は読み方は「き」って読みます。「じきしゅちょう」です。「じきしゅちょう」と読みます。改めて、6番、自己主張、森谷公昭、始めます。

まず、君市踏切につきまして、君市陸橋、君市踏切の説明会、昨年の7月にありましたけども、住民は踏切だけでなく橋を覚えてくれと、そういうふうになってました。以後住民への説明会とかっていう話全く聞かないんですけども、今のところどうなってるんでしょうか、教えてください。

○議長(西田清久) 都市建設部長。

◎都市建設部長(下垣博史) 昨年7月31日の地元説明会では君市踏切についての詳細な検討を進めることや、そのための測量等の立ち入りの承諾など、お願いと説明を行っております。

現在現地の測量や交通量調査を終えまして、踏切案と橋をかける案について、複数の案について設計と検討を行っているところであります。並行してJRと関係機関との協議も継続中であり、時間を要しております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) それから、陸橋のメートル当たりの単価ですね、これはもうわかってるんでしょうか、ざっくり、教えてください。

○議長(西田清久) 都市建設部長。

◎都市建設部長(下垣博史) 鉄道を橋で越える場合のメートル当たりの単価ですが、昨年の地元説明会の際に森谷議員が提案されたルート、これは石炭文化ホールの前の交差点から黒川郵便局のほうへ向かって上がって行って鉄道を越える案でお答えします。この場合橋の長さは34メートルとなりまして、コンサルタントの試算によれば、上部工、これ橋の桁部分になります。これがメートル320万円、それから下部工、これは橋台ですね、これがメートル当たり370万円となり、両方合計してメートル当たり690万円となります。橋全体の事業費としましては690万円掛ける34で2億3,700万円と試算をしております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) わかりました。もうちょっとわかりやすいペーパーかなんかで今度説明会、説明してほしいと思います。

次行きます。

保育料の無料化、親への保育料支払い、これにつきましてですけども、まず今ゼロ歳児の保育料が月17万円、浜田市が負担しているのが5万円ぐらい、親が3万円ぐらいですね、あとは国、県です。保育料から一旦離れて、0歳児の親に対する支援ということで、とりあえず第1子をつくるのにお金なくてハードルが高いって人もいるわけなんです。そのハードルを越えてもらうために月5万円とか10万円とか支援をすると、こういうことを提案したいんですけど、どうでしょうか。

○議長(西田清久) 健康福祉部長。

◎健康福祉部長(川崎功二) 議員のご提案はゼロ歳児に係る保育所運営費のうち浜田市が負担している分を保護者の方に直接給付することにより出生数の増加を図るということかと思っております。

現在ゼロ歳児の約3割が保育所を利用していますが、議員ご提案の在宅で保育する方に現金給付をするとした場合には、保育所に入れたかったけれども保育料が払えないために在宅保育をしているということを確認することが難しく、全ての在宅保育をしている方に現金給付をせざるを得ない状況になると思います。そうした場合約3倍の予算が必要となるということから、なかなか実現することは難しいと思っております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) 予算の問題でしたら、ほかのものを何かやめるとか、予算の問題でしたらほかのものをやめるとか、それから所得制限をつけるとか、それからあともっと考える、こんな簡単に諦めないで、いろんな方法を一緒に相談するとか、方法は何ほどもありますので、第1子を産めない人のために道を考えてみたいと思います。よろしくお願いします。

次行きます。

凍結災害につきまして、まず凍結災害、1月24日でしたね、日曜日です。そのときの市役所側の体制はどうなったか、お聞きします。

○議長(西田清久) 総務部長。

◎総務部長(植田和広) 1月24日の体制についてであります。上下水道部につきましては、午前8時から午後5時15分まで凍結事故に備えた待機体制をとっております。防災担当部署につきましては、本庁安全安心推進課が午前3時45分から終日、金城支所防災自治課が午前6時15分から午後11時まで、旭支所防災自治課が午前4時から翌日午前0時30分まで、弥栄支所防災自治課が午前4時20分から終日、三隅支所防災自治課が午前5時28分から午後6時までそれぞれ準備態勢をとっております。消防本部につきましては通常の当直体制をとっており、消防団に対しましては特に指示は出しておりません。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) わかりました。24日の同じく日曜日なんですけれども、教育委員会、上下水道に限って結構なんですけれども、部長、課長の出勤体制はどのようになっておりましたでしょうか。

○議長(西田清久) 総務部長。

◎総務部長(植田和広) 今ご質問の二つの部署の24日の出勤体制、教育委員会は管理職3名でございます。上下水道部は管理職1名の出勤でございます。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) 教育委員会、次の日の登校、休校がある。それから、上下水道の管理職1名という危機感がちょっと足りないと思うんですね。教育委員会が3名出とって、上下水道が1名、その結果こういう被害が起こってると。熊本の過去に災害があったところは、今回災害はなかったんですけども、30人体制で泊まり込みで詰めてた、結果、電話対策ぐらいで終わったんですけども、そのぐらいの危機感がないといけないうじゃないかと思いませんか、危機感の差。

それから次、伝える方法、伝える伝達の方法はどのような方法だったのでしょうか。

○議長(西田清久) 上下水道部長。

◎上下水道部長(山本好教) 広報の方法についてでございますが、12月号の広報「はまだ」あるいはケーブルテレビ、ホームページで凍結予防の注意、その方法について周知をいたしました。寒波到来時には防災行政無線、防災防犯メール、ケーブルテレビにより注意喚起を行ったところであります。一定の効果はあったものと考えておりますが、2,000件を超える漏水が発生したことを考えますと、さらなる周知の方法を検討する必要があると考えております。

ここで議長にお願いでございますが、反問をしてもよろしいでしょうか。

○議長(西田清久) はい、許可します。

◎上下水道部長(山本好教) 先ほども申し上げましたとおり2,000件を超える漏水があったということはやはり周知の方法に問題があったものと反省をしております。この反省を次の災害に生かすことが重要であると思っておりますので、参考のために議員が寒波前にどのような方法、手段で周知をされ、その効果がどのようなものであったかをお尋ねいたします。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) これは反問の趣旨から外れますね。だけど、答えてあげます。反問というのは僕の質問のどういう意味かなという意味を質問するのが反問です。私に質問するのが反問じゃないんですね。だけど、いいですよ、別に。時間……。

○議長(西田清久) 今とめてます。

◆6番(森谷公昭) とまってね。

私が考えるには、まず寒波が到来してたというときにゼロ立米、要するに空き家というか、使っていないところ、人が住んでないところのリストを用意するわけですよ、ばしっと。それで、それを集めまして、それに応じて、よく敷地図に何かこうパイプがかいてあって、ここがメーターだとかってありますね、水道部に、そういうものをプリントアウトして用意すると、100件か1,000件か知りませんが、空き家のゼロ立米のところですね。それをもとに消防団を用意します。私は2人と、それから市役所の人を1人と、そういう用意をします、私が市長だったら。それで、あとは検針員がいますね。それで、2、1でぐるぐる回ってもようわからんところがあると、そういうところには検針員さんを控えておってもらって、電話で細かく指示を送ってもらって。雪があったからあのときは消防団の人にはスコップで雪かいてもらって。そうすることによって空き家の漏水というのはとまるとは思いますが、そうすると、ところどころで人間が住んでるところでも破裂はあるかもしれないけども、断水ということは必要なかったじゃないかと。あの断水は私は人災だと思ってます。こんなものでいいでしょうか。

○議長(西田清久) 上下水道部長。

◎上下水道部長(山本好教) 私が質問をしたのは、議員がどのような方法で周知をされたかということをお尋ねをしたわけでありまして、どのような方法で。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) どういう意味ですか。私は、誰かに私が危ないからどうこうしろよって言うて回ったかどうかということですか。

○議長(西田清久) もう一度、上下水道部長、お願いします。

◎上下水道部長(山本好教) 例えばSNSを使ってどのように周知をされたかを参考のためにお尋ねをしたいということです。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) 私は自分がアパートを経営してますんで、アパートの水道をちょろちょろ出しに行きました、そこらじゅうの。他人の人には私は別に言いませんでしたけど、それが何か問題がありますでしょうか。

○議長(西田清久) 上下水道部長。

◎上下水道部長(山本好教) それと、あともう一点お尋ねをしたいと思います、今回の反省の中で、私どもは給湯器の破損ということ想定をしておりました。その結果として周知の中で給湯器の凍結予防に対して行いませんでした。議員はそういうことをされたのかどうかをお尋ねします。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) しませんでした。その結果、うっかりそこから水が漏れたりすることがありました。あ、こういうこともあるんだということで、ガス会社に電話して、どういふふうなのが予防の方法かという、手遅れだったんですけど、次のために聞きました。そしたら、追い炊きができるパターンと、それから追い炊きができないパターン、リモコンは部屋の中にある前提で、それからリモコンさえも部屋の中になくというパターンで、三つとも違うということだったんですけども、理由は、給湯器の中を通っているのは給湯器の水というルートじゃなくて、お湯というルートの分が中を通っているんですよ。ここのお湯のルートをちょっとずつ小出しにして、水を通さないといけないう。そのためにはちょっとずついろいろとノウハウがあるということなので、私としましては、ガス会社さんと市役所の水道部が集まって協議

して、それでガスの給湯器をつけるときにはその種類に応じて説明してもらったり、案内書を置いてもらったりということが有効だなと自分では考えました。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） 私どもも想定外でございましたが、議員も想定外だったということで、この経験を次に生かしていければと思います。

○議長（西田清久） 反問は以上で終わりですね。

はい。

じゃあ、通常の質問に戻ります。森谷議員。

◆6番（森谷公昭） それで、反省点があったと思いますけども、水道部としても、あれから1カ月たってますので、どのようなところを、例えば今度近い将来あったとしますね、仮に、どのようなところを押さえるべきだとお考えですか。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） 先ほど申し上げましたとおり今回の家庭内の漏水については、水道管だけではなく給湯器の破損が大きな原因でございました。先ほど申し上げましたとおりそういう周知は行っておりませんでしたので、今後の中ではそれを十分行う必要があろうと思いますし、先ほど議員が言われたように空き家対策、これも大変重要でございますので、この空き家対策を速やかに実施をしたいと考えております。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） これSNSという、LINEとかツイッターとかフェイスブックとかあるんですけども、これほかの市がやっていて、市長は大学でインベーション教えてたと、改革ですね、そういう感じなんですけども、市長は、私が浜田市で使わないかっていうときには前回は、使うつもりはないという答えをされたと思うんですけども、ほかの市長と私自身友達だったりするんですよ、浜田市長じゃないけど。植田さんの質問に対して、僕が、市長はやっとなるかという質問に対して、やっとなるかどうかはプライベートなことなので答えできませんとか、そんなところではねつけるようなものでもないと思うんですけどもね。やっとなきゃやっとな、やっとりゃやっとなるで、友達になってくださいとか、それとも言えぬ問題だと思うんですね。時代遅れなんですよ、何となくなくね、浜田市のSNS関係ですね。これはやっぱり災害は人災の部分かなり大きいもんだと思っております。

次に行きます。

庁舎内外、その行動、備えた行動、これはどういうふうに行われてたのでしょうか。

○議長（西田清久） 総務部長。

◎総務部長（植田和広） 庁舎内、庁舎外の行動についてであります。

まず、災害中の行動についてであります。庁舎内の行動についてですけれども、現場対応を行う上下水道部や各支所、防災自治課からの情報を災害本部が収集し、その内容をもとに広報活動や各部の対応を指示しております。さらに、各部署においては所管施設への対応や職員の動員要請に対応しております。各支所においても防災自治課を中心に同様の対応をしております。

次に、庁舎外の行動につきましては、給水場所となった公民館等での給水作業や、これに伴う物資運搬作業等、また技師等による個別の漏水調査、水道管本管破損調査、広報車による広報活動などを行っております。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 災害対策本部のトップは久保田市長だと思います。26日火曜日、夜8時、本当は夜11時ごろまでから断水の予定が夜8時になったと、昨日山本上下水道部長は男らしく謝っとられました。そのときに副市長、市長はどこにいらしたんでしょうか。決定されたときに。

○議長（西田清久） 副市長。

◎副市長（近重哲夫） 市長は出張中でしたので、そちらのほうだと思いますし、それから私は自宅で待機をしておりました。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 山本部長からは連絡はなかったんでしょうか。

○議長（西田清久） 副市長。

◎副市長（近重哲夫） 災害対策の関係については災害対策本部等、それから電話等で常時いろんな状況については報告がありました。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 断水の決断の際です。

○議長（西田清久） 副市長。

◎副市長（近重哲夫） そのことについては昨日も答弁しましたように事後の報告でしたけれども、適正な判断だったろうと思っています。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 市長は全体責任を負うわけですけども、山本部長は昨日私の責任だと謝られました。市長はご自分の責任だと発表されたことはありますか、今回の災害について。

○議長（西田清久） 市長。

◎市長（久保田章市） 今回のこの定例会の冒頭にも、今回の災害のときに市民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしましたとおわびを申し上げさせていただきました。

17

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） おわびは聞きましたけど、おわびイコール責任は自分にあると考えていいんでしょうか。

○議長（西田清久） 市長。

◎市長（久保田章市） 漏水の責任ということでございましょうかね。

（6番森谷公昭議員「全体責任」と呼ぶ）

今回大変長期間にわたって断水が発生いたしました。かつまた、本当に多くの市民の皆さんにご迷惑をおかけしましたことに対しましておわびを申し上げたと思っておりますし、またこの市の責任者として責任を感じているところでございます。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） まず、自衛隊を呼んだのは、25日月曜日、夕方ぐらいに、それから市長おられたんですけども、挨拶もせず翌日広島、大阪、和歌山へ出張に行かれたと。普通出張しとった場合に飛んで帰る事案じゃないかと思うんです。それを自衛隊呼んで、挨拶もせずに出張に行かれたという感覚が理解できないんですけども、説明していただけますか。

○議長（西田清久） 市長。

◎市長（久保田章市） 今回の出張のご質問でございまして。経緯についてちょっと整理をさせていただいて申し上げたいと思います。私は市長の役割で最優先で取り組むべきものは災害対策であると思っております。この度の大寒波に対しましては寒波到来前の1月23日土曜日、このときから安全安心推進課を出動させまして、逐一報告を受けておりました。また、24日日曜日も同様でありますけれども、その際注意喚起等の指示も都度させていただいたところでございます。25日月曜日でございますけれども、庁議というのがありまして、そのときに当然、それまでも電話等での連絡はありましたけれども、雪害対策についての正式な会議での報告がありました。そのときにはそれ以上の大きな被害は、弥栄町で倒木の報告がございまして、当時月曜日の午前中のお話でございますが、それ以上の大きな被害の報告はその時点ではございませんでした。しかしながら、お昼ごろですけれども、配水池の貯水の水位が下がってきたという報告を受けまして、直ちに雪害対策会議を招集いたしました。その後この会議を災害対策本部会議に格上げをいたしまして、雪害の対応を協議したところでございます。

会議では4点について私のほうから指示を行いまして、一つは節水の呼びかけであります。それから一つ目には、漏水のチェック、チェック体制をとるようというところで、それから3点目が、結果として断水をしようという決断をし、その周知、それから四つ目が、給水体制、これをその会議で指示をいたしました。先ほどの自衛隊ということが出てまいりましたので、ちょっと触れさせていただきますと、この会議のときに断水の決断をし、給水体制をとるようという指示をいたしましたときに自衛隊への支援要請、これを決定いたしまして、島根県を通じて自衛隊のほうに要請をいたしました。並行しまして私自ら自衛隊の地方協力本部長に電話をいたしまして、状況の説明を私のほうから行いました。その晩、月曜日の晩でございますが、到着いたしました自衛隊の皆さんには副市長、それからその他担当の職員一同に出迎えをしてもらいました。なお、自衛隊ということで言いますと、任務の完了後は私のほうから自衛隊の本部長にお礼の電話を直接入れさせていただいたところでございます。

こういった中での関西方面へ出張ということでございまして、何の目的でというのを述べさせていただきます。この出張は将来の浜田市の水産業にとって大変重要な協議を行うということを中心とする目的にしております。この協議の結果を踏まえまして、この3月の今回の市議会定例会に予算案を追加提案したいという思いと、それからあわせて、2月上旬に地方創生交付金の申請を行う、この協議をこのときに行いたいという予定をしておりました。そうしたときにあつた雪害が起こったことでございまして、こういった協議は市長自ら出向いて相手と直接協議をしたいということだったんですが、雪害の中で日程どうにかならんだろうかとということで調整を行いましたけれども、なかなかこちら、それから先方なかなか日程折り合わず、どうしたものかということで考えたところでございます。冒頭申しましたけれども、私は災害対応というのは市長の重要な役割であると考えておりました。今回いろいろその中で、一方では将来の浜田のことを考えれば、重要な取り組みもしくちゃいけない。そこで、副市長と協議をいたしまして、26日の火曜日でございまして、私が出張に出かけて、この間災害対応は副市長トップで行ってもらって、出張中はその都度電話で連絡をとり合おうということといたしました。実際出張した後もしょっちゅう電話で定期的な連絡を行いまして、その間にも災害対策本部の会議が行われましたけれども、この会議には私は電話で参加をさせていただきました。なお、翌日の27日水曜日でございまして、関西での協議を終えまして、その後の予定をキャンセルしまして直ちに浜田に向けて移動いたしました。水曜日の夜市役所に到着いたしまして、災害対応の協議を行い、いろいろ指揮をとったということでございます。

○議長（西田清久） 森谷議員。ちょっと待って、その前に、今質問は②、③が飛ばされたんですが、取り下げられたんですか。

◆6番（森谷公昭） いや、飛ばしてないんですよ。

○議長（西田清久） 飛ばしてない。今④でしょ。

◆6番（森谷公昭） 再質問の範囲なんですけど。

○議長（西田清久） まだ今①。

◆6番（森谷公昭） ①です。

○議長（西田清久） ①。

18

◆6番(森谷公昭) ①です。

○議長(西田清久) わかりました。続けてどうぞ。

◆6番(森谷公昭) その出張の日程等を公文書の情報公開請求しましたら、東京電力の原発の文書みたいに全部真っ黒けになって出てきたんですよ。そのような必要があるのかどうか、お伺いいたします。

○議長(西田清久) 総務部長。

◎総務部長(植田和広) 情報公開において非開示にさせていただいた分はまだ浜田市の将来に向けての施策方針を決定する段階にならないということで不開示にさせてもらったものだと判断をしております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) いやいや、こっそりね、悪いことしてるわけじゃないわけだし、オープンにして何が悪いと思うんですけどね。一応私異議申し立てしましたから、その後審査してもらったり訴訟に行ったりすると思うんで、明らかになると思うんですけども、仮の話で恐縮なんですけども、もう一回あのような浜田の経済のために必要なという出張があった上でこのような雪害になったと、今の経験を振り向いて、やはり雪害は電話で十分だから出張に行かれますか。

○議長(西田清久) 市長。

◎市長(久保田章市) そういう例えはなかなか難しいですね。当時そのときの状況の中で、目先の防災対策、これってとっても重要であります。最優先に取り組まないといけない。一方、2月の上旬にはいろんな申請をしなくちゃいけないとか、そういう中で当時判断したわけありますので、今の議員さんの仮定の部分、今だったらどうだとかと言われますと、なかなかお答えが難しいかなと思っているところでございます。ただ、私は冒頭にも申しましたけれども、災害対応というのは市長の重要な役割であると、この認識はずっと持ち続けて、今も持っておりますし、今後も持ち続けたいと思っておりますのでございます。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) 私は次回は出張をほっといて、浜田にずっといて指揮をとるよと言ってほしかったんですよ。浜田市の皆さんもそうじゃないかなと思うんですけど、違いますでしょうかね。ま、いいですけどね。

それから、全体的に見て、これどうすべきだったか、②ですけども。

○議長(西田清久) 総務部長。

◎総務部長(植田和広) どうすべきだったという点については、課題としてお答えをさせていただければと思います。

今回の寒波による災害対応につきましては、寒波到来前の注意喚起等の広報活動の不足、市民の皆さん方への情報伝達の遅れ、漏水調査実施体制の遅れ、地域団体等との連携などを課題としております。今後これらを改善してまいりたいと考えております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) ありがとうございます。金城の消防団だけが消防団出動してましたね。ほかは出動していませんでした。これはどうしてなのでしょう。理由をお伺いします。

○議長(西田清久) 消防長。

◎消防長(河上晴夫) 消防団の出動につきましては、火災以外の災害の場合は地域によって被害の状況が異なりますので、自治区ごとに判断し、浜田自治区においては消防長が、他の自治区においては自治区長が出動を要請します。金城自治区においては積雪の状況や緊急性等を考慮し、また金城消防隊からの申し出もあり、出動要請をしたものと認識しております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) そうですか。何かこう二元的で対応が機敏にいかない気がするんですけど、例えば東北で津波があって火災も起きたとかっていう、あの複数の災害が同時に起きたときにはそれどういうふうに考えることになってますか。

○議長(西田清久) 消防長。

◎消防長(河上晴夫) 昨日の足立議員さんの質問の際に少しお答えさせてもらったと思うんですが、現在広い市域の中で自治区という制度の中で地域性もあり、また特に局地的な豪雨とか、そういうこともありまして、その地域ごとに災害の様相は変わってくると思います。そういう中で、災害対策につきましては地域で地域の対策本部もできます。その中で自治区長が判断されるということは、やはりスピーディーで理にかなっているところもあると思います。

それから、消防との連携で言えば、東西の消防署長も地区の災害対策本部に結めますので、そういう意味でも連携はとれると思います。それから、それ以上の大きな災害になった場合は、やはり全体的な消防団としての活動も必要になってくると思います。これにつきましては、消防団一元化の事務の中で出動の指令の出し方等を調整しているところでもありますので、しっかり今後検討していきたいと思っております。

○議長(西田清久) 森谷議員。

◆6番(森谷公昭) よくわからないんですけど、自治区長は災害のプロじゃないわけですよ。消防長はプロだということで、私は全体を統括する何かがあって、強制的にでも各自治区でも消防団動きなさいよみたいな形でどっかの指令塔がないといけない気がするんですけど、どうお考えですか。

○議長(西田清久) 消防長。

◎消防長(河上晴夫) 先ほど申しましたが、東西の消防署長、これも地区の災害対策本部のほうに結めますので、消防長と消防署長との連携のもとに出動の指示は出せるものと思います。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） ちょっと長くなりそうなので、これはやめます。

それから、③、④、⑤につきましては、昨日、今日と十分聞いておりますので、取り下げます。

大きな③行きます。

今後の改善について、明日同じ災害が起こったとします。仮定の話で袖に振られるかも知れませんが、前回、今回ですね、100ぐらいの被害があったとします。そうしたら、次回は、ゼロに抑えられると言ってほしいんですけど、どのぐらいを予想されますか。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） 明日同じような災害ということでございますが、同じような寒波が来たということだろうと思いますが、この度の寒波につきましては、私どももまた議員もあるいは市民の皆さんも給湯器の破損という、そういう想定を超えたものであったため、宅内の漏水被害が大きくなったものと考えられます。また、明日同じような強い寒波が来た場合、今後はより具体的な凍結対策を広報し、さらには空き家を中心とした漏水防止の対策を行うことにより被害は最小限に食い止められるものと思っております。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 閉めて回るのはこっちサイドでできます。ガス、給湯器につきましては、どうすればいいのかわかったと思うんですけども、それに対しての行動を起こしてないと、市民もばらばらに知ってる人、知らない人でまた差が起きるんですけど、その対応は現時点ではどうなってるか、またどのような予定になってるか。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） 先ほども議員もおっしゃいましたけども、給湯器の場合、電気の場合、ガスの場合、さらには追い炊きの場合、追い炊きができない場合と、それによってさまざまなやり方が違います。それをいかにわかりやすく周知するかという部分はそれぞれの家庭も実際自分が例えば本当に追い炊きがあるのかないのかということも含めて知っていかないと、また間違った方法になりますので、課題だとは思っておりますが、わかりやすい広報に努めてまいりたいと思います。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 毎月出てる浜田の広報なんかで何カ月連続ぐらい出すのもいい方法だとは思いますが、

水道料金の値上げについてですけれども、一般会計から5億3,000万円助けてもらうほどお金に困っている水道ですね、独立してますけども。水道料金の値上げを3年間延期するかも知れないと、今回いろんなところで相談してもらって、値上げやむを得ないんじゃないかということだったんですけども、ひょっとしたら3年間延ばして、値上げをすることになるかもしれないということを聞いたんですけど、その理由をお伺いしたいです。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） 超党はまだの会派代表質問で市長が申し上げましたとおり浜田市が国の簡易水道統合時期の延長方針に該当するかどうかは現時点では不明でございます。水道料金の値上げを3年間延期をする理由をとのことではございますが、現時点では3年間延期をするということは決まっております。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） 私はせっかく値上げが煮詰まってきて、パズルがあとワンピースを入れるぐらいのところまで来てますね。それだったら、そのまま値上げを、補助が切れるか切れないかは別にして、値上げは続いって、それで補助をもらうことになれば、その補助の分で資金も普通よりもたまるわけですから、この流れで行っていいと思うんですけどね。浜田だけで言うと、2,700円が3,700円になるとか、そういうことだと思うんですけどね。

ちょっとお聞きしますけども、江津とか大田市、同じ水量を使った場合に月どのぐらい必要になるんでしょうか。浜田今2,700円ぐらいですね。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） 一番高いところ、先ほど言われたように江津、大田なんです。約1.5倍の月額料金でございます。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） ということは、浜田が2,700円、上がって3,700円、大田は5,000円近い、江津も5,000円弱だと、こういうことでいいんでしょうか。それから、浜田は100水を送ると、家庭には何かほかのところよりもちょっとしか届かないという率があるらしいんですけど、有収率というんですかね、それ今何割ぐらいなんですか。

○議長（西田清久） 上下水道部長。

◎上下水道部長（山本好教） そうですね、有収率でございますが、おおむね8割でございます、約2割が漏水をしてるという状況でございます。

○議長（西田清久） 森谷議員。

◆6番（森谷公昭） ほかのところ見たら、98とか95とかなってるんですよ。結構垂れ流しみたいな感じですね、2割。ということは、例えば本管に亀裂が入るとか、さびとるとか、穴があいとということだと思うんですよ。そういうところに使うお金も必要だと思うんですよ。だから、言い方悪いけど、生

20